

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和2年7月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和2年7月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	7月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	7月30日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

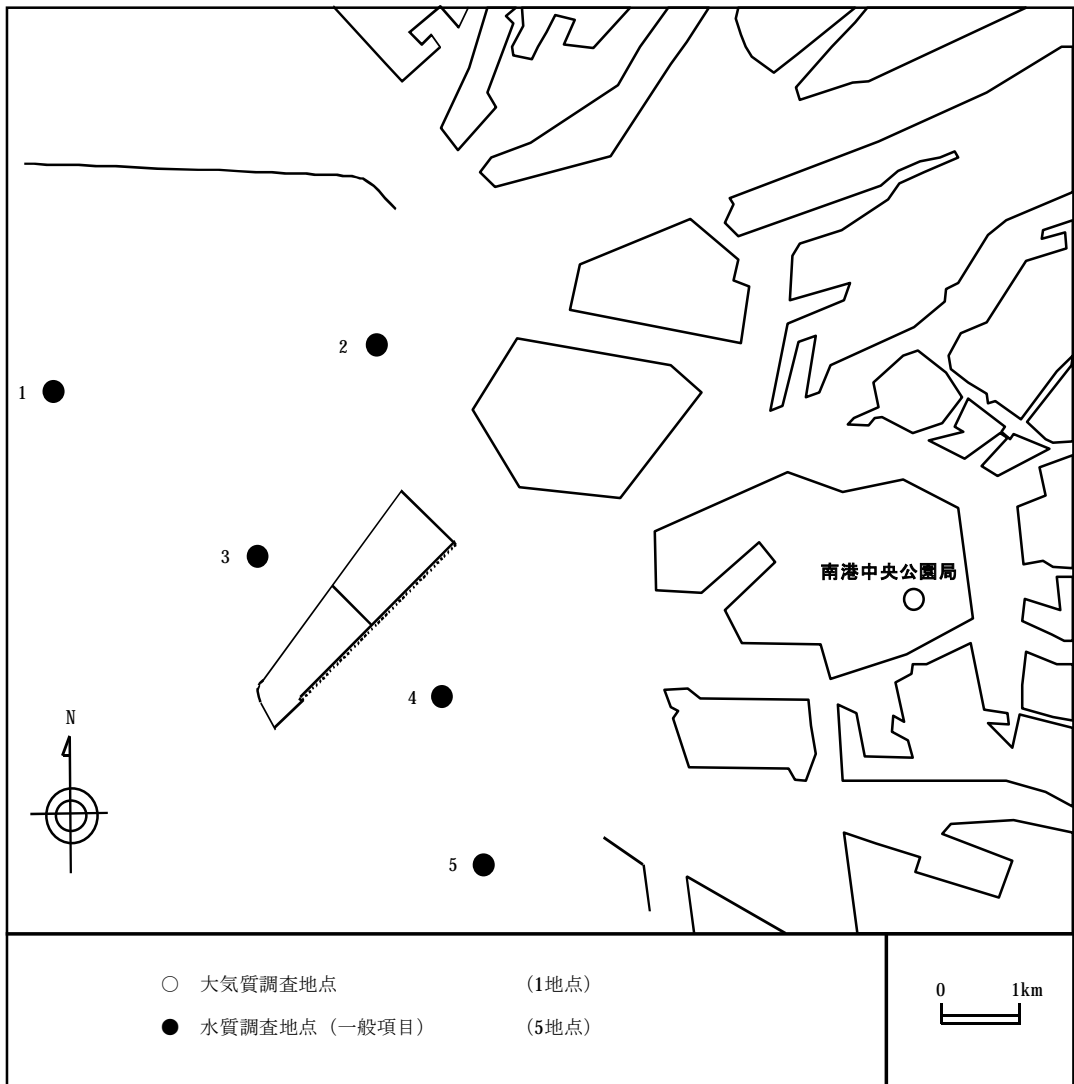
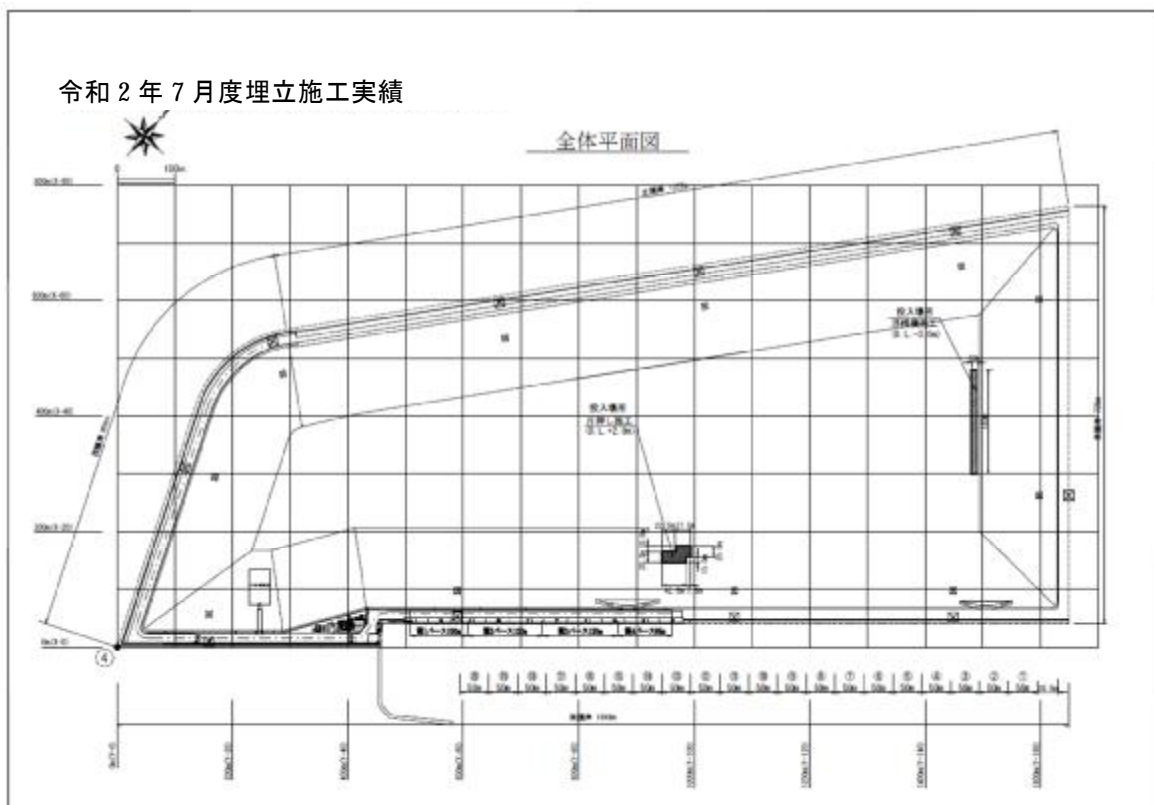


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和2年7月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
5,650,318	40.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1時間値の最高値は 0.012ppm であり、環境基準値を下回っていた。
  
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.016ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.027ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
  
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は 0.034mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は 0.059mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 7.9～8.8、下層で 7.9～8.1 の範囲であり、上層では調査地点 1、3、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値の範囲外であった調査結果は、上層の調査地点 1 (8.4)、調査地点 3 (8.5)、調査地点 4、5 (8.8) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、調査地点 4、5 でこの範囲を上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.4～6.8mg/L、下層で 1.5～2.0mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.7mg/L)、調査地点 2 (3.4mg/L)、調査地点 3 (4.9mg/L)、調査地点 4 (6.8mg/L)、調査地点 5 (6.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 4、5 でこの範囲を上回っていた。調査当日、各調査点では赤潮の発生が確認されており、上層では、ほぼ全地点でクロロフィル a、水素イオン濃度(pH)及び溶存酸素量(DO)の値が高くなっていることから、植物プランクトンの活動が活発であり、植物プランクトンの増殖の影

響を受けて化学的酸素消費量(COD)の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 8.2~14mg/L、下層で 2.7~6.6mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では調査地点 1、2、3、5 において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層の調査地点 1 (2.7mg/L)、調査地点 2 (3.7mg/L)、調査地点 3 (3.5 mg/L)、調査地点 5 (4.3 mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.44~0.90mg/L、下層で 0.38~0.78mg/L の範囲であり、上層では調査地点 1、4、5、下層では調査地点 2 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.79mg/L)、調査地点 4 (0.82mg/L)、調査地点 5 (0.90mg/L)、下層の調査地点 2 (0.78mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L、下層で 0.29mg/L~0.82mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.046~0.088mg/L、下層で 0.029~0.071mg/L の範囲であり、上層では調査地点 1、3、4、5、下層では調査地点 1 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.066mg/L)、調査地点 3 (0.058mg/L)、調査地点 4 (0.088mg/L)、調査地点 5 (0.075mg/L)、下層の調査地点 1 (0.071mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020mg/L~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 6) 濁度

濁度は上層で 6~21 度(カリン)、下層で 1~4 度(カリン)の範囲であった。

### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~10mg/L、下層で 1~5mg/L の範囲であった。

### 8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 1.7~86 μg/L、下層で 1.7~9.4 μg/L の範囲であった。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.1ppm</b> 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> から <b>0.06ppm</b> までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.10mg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.20mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。

##### (2) 水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	<b>7.8</b> 以上 <b>8.3</b> 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	<b>3mg/L</b> 以下
	溶存酸素量 (DO)	<b>5mg/L</b> 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	<b>0.6mg/L</b> 以下
	全燐 (T-P)	<b>0.05mg/L</b> 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

**75%水質値**・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

区 分 項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。



## II 事後調查結果





大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [令和2年7月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果 [令和2年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.004	0.005
	2 (木)	0.004	0.005
	3 (金)	0.004	0.005
	4 (土)	0.003	0.004
	5 (日)	0.004	0.006
	6 (月)	0.003	0.004
	7 (火)	0.003	0.004
	8 (水)	0.004	0.004
	9 (木)	0.004	0.005
	10 (金)	0.004	0.005
別	11 (土)	0.003	0.004
	12 (日)	0.004	0.004
	13 (月)	0.004	0.005
	14 (火)	0.004	0.004
	15 (水)	0.004	0.005
	16 (木)	0.004	0.005
	17 (金)	0.004	0.004
	18 (土)	0.004	0.005
	19 (日)	0.005	0.012
	20 (月)	0.006	0.012
値	21 (火)	0.006	0.011
	22 (水)	0.004	0.006
	23 (木)	0.004	0.006
	24 (金)	0.004	0.005
	25 (土)	0.003	0.004
	26 (日)	0.003	0.005
	27 (月)	0.005	0.006
	28 (火)	0.004	0.006
	29 (水)	0.005	0.006
	30 (木)	0.005	0.006
	31 (金)	0.004	0.005
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.006	
1時間値の最高値 (ppm)		0.012	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和2年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.003	0.004
	2 (木)	0.004	0.007
	3 (金)	0.005	0.010
	4 (土)	0.004	0.006
	5 (日)	0.004	0.009
	6 (月)	0.007	0.044
	7 (火)	0.006	0.014
	8 (水)	0.005	0.013
	9 (木)	0.012	0.031
	10 (金)	0.018	0.063
別	11 (土)	0.005	0.015
	12 (日)	0.003	0.003
	13 (月)	0.010	0.018
	14 (火)	0.008	0.023
	15 (水)	0.004	0.008
	16 (木)	0.005	0.010
	17 (金)	(0.007)	(0.018)
	18 (土)	0.006	0.017
	19 (日)	0.003	0.006
	20 (月)	0.005	0.024
値	21 (火)	0.008	0.050
	22 (水)	0.004	0.005
	23 (木)	0.003	0.004
	24 (金)	0.006	0.020
	25 (土)	0.009	0.038
	26 (日)	0.005	0.015
	27 (月)	0.024	0.047
	28 (火)	0.020	0.047
	29 (水)	0.010	0.026
	30 (木)	0.013	0.036
	31 (金)	0.009	0.038
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.008	
日平均値の最高値 (ppm)		0.024	
1時間値の最高値 (ppm)		0.063	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和2年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.010	0.016
	2 (木)	0.014	0.033
	3 (金)	0.021	0.037
	4 (土)	0.010	0.027
	5 (日)	0.011	0.023
	6 (月)	0.006	0.017
	7 (火)	0.016	0.046
	8 (水)	0.026	0.043
	9 (木)	0.027	0.040
	10 (金)	0.017	0.038
別	11 (土)	0.007	0.015
	12 (日)	0.006	0.015
	13 (月)	0.025	0.037
	14 (火)	0.012	0.023
	15 (水)	0.014	0.029
	16 (木)	0.022	0.036
	17 (金)	(0.021)	(0.031)
	18 (土)	0.016	0.026
	19 (日)	0.012	0.020
	20 (月)	0.018	0.032
値	21 (火)	0.016	0.039
	22 (水)	0.020	0.040
	23 (木)	0.012	0.021
	24 (金)	0.010	0.019
	25 (土)	0.012	0.017
	26 (日)	0.012	0.019
	27 (月)	0.019	0.023
	28 (火)	0.012	0.017
	29 (水)	0.017	0.033
	30 (木)	0.022	0.041
	31 (金)	0.019	0.030
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.027	
1時間値の最高値 (ppm)		0.046	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和2年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (水)	0.013	74.8	0.020
	2 (木)	0.018	78.7	0.037
	3 (金)	0.026	80.6	0.045
	4 (土)	0.014	74.2	0.031
	5 (日)	0.015	74.9	0.030
	6 (月)	0.013	44.3	0.061
	7 (火)	0.022	72.5	0.056
	8 (水)	0.032	82.7	0.047
	9 (木)	0.039	69.3	0.064
	10 (金)	0.035	48.0	0.089
別	11 (土)	0.012	59.4	0.030
	12 (日)	0.009	67.9	0.018
	13 (月)	0.035	71.3	0.052
	14 (火)	0.020	58.9	0.045
	15 (水)	0.019	76.8	0.035
	16 (木)	0.026	82.9	0.040
	17 (金)	(0.028)	-	(0.049)
	18 (土)	0.021	73.8	0.043
	19 (日)	0.015	78.0	0.026
	20 (月)	0.023	76.7	0.056
値	21 (火)	0.024	67.3	0.088
	22 (水)	0.024	84.1	0.045
	23 (木)	0.015	77.7	0.024
	24 (金)	0.016	63.6	0.035
	25 (土)	0.021	56.3	0.050
	26 (日)	0.018	71.0	0.033
	27 (月)	0.044	44.0	0.068
	28 (火)	0.032	37.7	0.064
	29 (水)	0.026	63.4	0.045
	30 (木)	0.036	62.2	0.077
	31 (金)	0.029	67.1	0.064
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		737		
月平均値 (ppm)		0.023		
日平均値の最高値 (ppm)		0.044		
1時間値の最高値 (ppm)		0.089		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		67.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$\frac{(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)} /$$

$$(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和2年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均值( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	1時間値の最高値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )
日	1 (水)	0.018	0.030
	2 (木)	0.008	0.016
	3 (金)	0.012	0.059
	4 (土)	0.014	0.032
	5 (日)	0.017	0.034
別	6 (月)	0.013	0.030
	7 (火)	0.018	0.034
	8 (水)	0.012	0.026
	9 (木)	0.012	0.024
	10 (金)	0.015	0.035
	11 (土)	0.021	0.043
	12 (日)	0.008	0.020
	13 (月)	0.016	0.024
	14 (火)	0.016	0.042
	15 (水)	0.008	0.014
値	16 (木)	0.010	0.019
	17 (金)	0.011	0.038
	18 (土)	0.012	0.023
	19 (日)	0.021	0.034
	20 (月)	0.034	0.057
	21 (火)	0.033	0.054
	22 (水)	0.018	0.039
	23 (木)	0.015	0.029
	24 (金)	0.014	0.038
	25 (土)	0.011	0.032
	26 (日)	0.010	0.028
	27 (月)	0.011	0.020
	28 (火)	0.018	0.035
	29 (水)	0.017	0.045
	30 (木)	0.016	0.049
	31 (金)	0.018	0.032
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.015	
日平均値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.034	
1時間値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.059	
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和2年7月分]

測定局		南港中央公園				
項目		風速			最多 風向  16方位	
		平均 風速  (m/s)	最大風速			
			風速  (m/s)	風向  16方位		
日	1 (水)	1.0	2.3	SW, WSW	WSW	
	2 (木)	0.6	1.6	SW	W	
	3 (金)	0.9	1.6	NE	ENE	
	4 (土)	1.0	3.4	SSW	WSW	
	5 (日)	0.4	1.0	WSW	CALM	
別	6 (月)	1.6	3.7	SSW	SW	
	7 (火)	1.1	2.6	SW	SW	
	8 (水)	0.3	1.6	SE	CALM	
	9 (木)	0.1	0.4	NW	CALM	
	10 (金)	0.2	1.0	E	CALM	
	11 (土)	0.3	0.8	W	CALM	
	12 (日)	0.4	0.9	N	CALM	
	13 (月)	0.4	1.1	E	CALM	
	14 (火)	0.2	0.8	W	CALM	
	15 (水)	0.5	2.0	W	CALM	
	値	16 (木)	0.2	0.8	WNW	CALM
		17 (金)	0.5	1.1	ENE	CALM
		18 (土)	0.2	0.6	NNE	CALM
		19 (日)	0.2	0.5	N	CALM
		20 (月)	0.2	0.7	N	CALM
21 (火)		0.2	0.6	N	CALM	
22 (水)		0.2	0.7	N	CALM	
23 (木)		0.1	0.3	CALM	CALM	
24 (金)		0.3	1.1	SE	CALM	
25 (土)		0.4	1.0	ESE	CALM	
26 (日)		0.3	0.7	ESE	CALM	
27 (月)		0.0	0.3	CALM	CALM	
28 (火)		0.1	0.3	CALM	CALM	
29 (水)		0.0	0.1	CALM	CALM	
30 (木)		0.1	0.6	NW	CALM	
31 (金)		0.1	0.5	NNE, NNW	CALM	
測定時間 (時間)		744				
月平均風速 (m/s)		0.4				
月最大風速 (m/s)		3.7				
月最多風向 (16方位)		WSW				

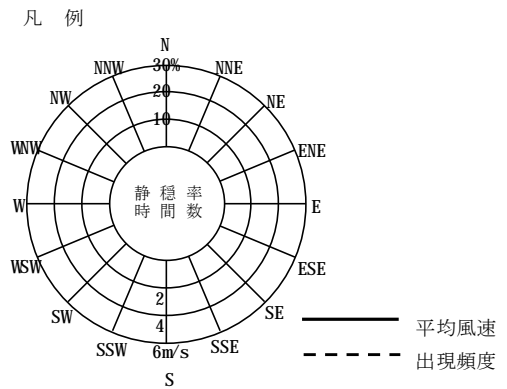
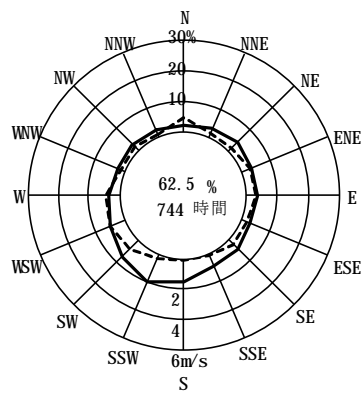
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和2年7月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	11	10	21	23	14	14	2	2	13	28	37	35	12	13	9	35	465	744
頻度 (%)	1.5	1.3	2.8	3.1	1.9	1.9	0.3	0.3	1.7	3.8	5.0	4.7	1.6	1.7	1.2	4.7	62.5	-
平均風速 (m/s)	0.6	0.8	0.7	0.7	0.6	0.8	0.8	1.4	1.9	1.5	1.0	0.7	0.5	0.6	0.5	0.5	0.1	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和2年7月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和2年7月分〕

調査日：令和2年7月30日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	10:46	11:08	10:15	9:45	9:23	-			-	
透明度 [m]	1.8	1.8	1.5	1.3	1.2	1.2	～	1.8	1.5	
水温 [℃]	26.1	25.5	24.8	26.9	25.8	24.8	～	26.9	25.8	
	21.3	21.8	21.6	21.8	21.9	21.3	～	21.9	21.7	
塩分 [-]	8.7	2.7	17.7	17.3	17.1	2.7	～	17.7	12.7	
	30.8	30.1	31.0	29.9	30.8	29.9	～	31.0	30.5	
濁度 [度(カサ)]	10	6	14	20	21	6	～	21	14	
	3	4	1	2	1	1	～	4	2	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	6	3	7	10	10	3	～	10	7	
	3	5	1	1	1	1	～	5	2	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.4	7.9	8.5	8.8	8.8	7.9	～	8.8	-	
	7.9	7.9	7.9	8.1	8.0	7.9	～	8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.7	3.4	4.9	6.8	6.6	3.4	～	6.8	5.3	
	1.8	1.9	1.5	2.0	1.7	1.5	～	2.0	1.8	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.6	8.2	14	8.2	9.3	8.2	～	14	9.9
	飽和度 [%]	2.7	3.7	3.5	6.6	4.3	2.7	～	6.6	4.2
全窒素 (T-N) [mg/L]	125	102	187	113	126	102	～	187	131	
	37	50	48	90	59	37	～	90	57	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.79	0.44	0.58	0.82	0.90	0.44	～	0.90	0.71	
	0.55	0.78	0.39	0.38	0.39	0.38	～	0.78	0.50	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.066	0.046	0.058	0.088	0.075	0.046	～	0.088	0.067	
	0.071	0.049	0.045	0.029	0.037	0.029	～	0.071	0.046	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	27	1.7	51	86	68	1.7	～	86	47	
	1.8	9.4	1.7	5.3	2.0	1.7	～	9.4	4.0	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------